

大阪 PCB 廃棄物処理事業だより (No.40)

◎PCB廃棄物の処理状況について

操業開始（平成18年10月）から平成26年12月31日までの処理実績は下表のとおりです。

対象物	処理実績（※登録台数比率）	
	近畿2府4県【総数】	大阪市【内数】
トランス類	2,283台（70%）	1,089台（84%）
コンデンサ類	51,891台（75%）	11,496台（91%）
PCB油類	1,119本（62%）	474本（87%）

※登録台数等は平成26年3月31日現在の数値。

◎会社名及び事業所名の変更について

弊社の社名は、昨年12月24日に施行された「日本環境安全事業株式会社法の一部を改正する法律」に基づき、「中間貯蔵・環境安全事業株式会社」となりました。（なお、略称の「JESCO」はこれまでどおりです。）

これにより弊社は、国が福島県内に設置する放射性物質によって汚染された土壌等の中間貯蔵施設に係る業務の一部を担うこととなります。この業務は、大阪 PCB 処理事業所（旧名称：大阪事業所）をはじめとした現在ある全国5つの事業所で行っている PCB 廃棄物処理事業とは完全に切り離して福島県内で実施するものです。

なお、弊社が従前より実施している PCB 廃棄物処理事業につきましては、引き続き安全を第一に PCB の処理を推進し、できるだけ早期に全国の PCB の処理を完了すべく今後とも全力で取り組んでまいりますので、ご理解、ご協力の程よろしくお願いいたします。

◎消防訓練の実施について

消防訓練は毎年春と秋に実施しています。秋の訓練は11月13日に放水訓練、担架組立・搬送訓練、簡易テント組立訓練、二酸化炭素消火器の噴射訓練を行いました。緊急事態はいつ発生するか分かりませんので、大阪 PCB 処理事業所員が適切かつ速やかな行動をとることが出来るように訓練を継続しています。



担架組立・搬送訓練



簡易テント組立訓練



二酸化炭素消火器噴射訓練

◎地震避難訓練の実施について

地震訓練は、平成26年12月4日に設備が自動停止する震度5弱（120ガル）の地震発生を想定し行いました。

緊急地震速報の放送を確認し、揺れが収まるまで各人の安全を確保した後、設備からのPCB油などの漏洩のチェックや設備が安全に停止していることの確認を行いました。地震訓練は所員が自分の役割を理解して行動出来るよう毎年定期的に行っています。



机の下で各人の安全を確保



対策本部の活動



指揮本部の活動

◎施設見学の状況について

当施設への見学者は、平成26年12月31日現在で9,723名（1,282団体）となっています。

平成26年10月から12月の見学者数は、以下の皆様をはじめ計192名（15団体）でした。

10月7日 企業の地域団体（13名）

11月18日 企業と行政による
環境保全団体（52名）

11月27日 環境関連法所管
行政担当者（30名）



洲男（しまお）

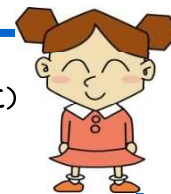
☆大阪PCB廃棄物処理施設見学方法☆

弊社のホームページを参照または総務課へご連絡下さい。

- ・自由見学・西棟1階情報公開ルーム（月～金曜日の午前10時から午後4時まで）
- ・予約見学・西棟1階情報公開ルーム、見学者ホールなど
毎週火、木曜日（午前10時から・午後2時から）

【問い合わせ】 中間貯蔵・環境安全事業（株）大阪PCB処理事業所
TEL：06-6468-0575
ホームページ：<http://www.jesconet.co.jp>

舞子（まいこ）



べん蔵（べんぞう）



【発行】 中間貯蔵・環境安全事業株式会社 大阪PCB処理事業所
総務課／安全対策課／運転管理課 06-6468-0575
営業課（弁天事務所） 06-6575-5575